

職員の皆さんへ

いよいよ年の瀬も迫り 12 月を迎えました。来週から始まる定例市議会の審議や来年度予算編成、さらに平戸市総合戦略の具体化など、大変慌しく多忙を極めることとなりますが、お互いに健康に注意して頑張ってみましょう。

振り返ればあっという間の一年でしたが、今年は大きな節目と新たなスタートの年になったという手応えを感じています。10 月 1 日には本市が合併して 10 周年を迎え、中央省庁をはじめ内外から多くのお客様をお迎えし、記念式典が盛大に開催されたことは大変意義深く、次の 10 年に向けた新たな決意を市民各位とともに確認できたところです。

また昨年、平戸市ふるさと納税の寄付額が 14 億円を突破し日本一の実績を収めたことから全国的にも注目が高まり、依然平戸市の名前が広く知られることとなりました。これに加えて、人気テレビ番組『劇的ビフォーアフター』においても観光交流センター「レストハウス」がそのリフォームの対象として選定を受け前編として放送されたことをきっかけにすでにその波及効果が顕著に見受けられています。

今や県下でも「最も元気な自治体」として認識されており、私たち自身が思っている以上に羨望のまなざしが注がれるとともに、これまでも増して地域間競争の波にさらされていくことを覚悟しなければなりません。

つまり、現在に慢心し歩みを緩めることは最早私たちの選択肢としては存在しえないということです。常に現状を詳細に分析し方向性を先読みし、次の新たな一步を踏み出す勇気と戦略が不可欠であります。

現在、本市を取り巻く諸情勢の中でも特に人口減少問題が深刻化を増す中で、この流れをいかに食い止めるかという施策体系としての「平戸市総合戦略」策定を進めています。これは、「平戸市ずっと住みたいまち創出条例」とも連動し、これからの平戸市の進むべき方向性を描く重要な支柱となります。当然、制度設計とこれに伴う予算措置がなされてこそ稼動する戦略なので、それ相応の具体的な取り組みが必要となってきます。

それに加えて重要なことは、「制度と予算があれば施策は進む」と思っているだけでは不十分だということです。

私自身、これまでの体験から導き出されるひとつの解答は、「制度と予算の裏づけ」に加え、「誰が誰と組んでやるか」ということがとても重要であるということです。この組んでやる相手とは役所内の同僚や上司ではなく、外部の組織や人材との連携を意味しています。つまり制度や予算がその成果として求め続けている結果は市役所の机の上やパソコンの中にあるのではなく、現場や外部でそれを待ち受けているパートナーがいるということに気づかなければならないということです。

常に制度や予算は市民のためにあるのであって、これを活用する具体事例も平戸の外を見ると豊富な素材として存在しています。そうした連携すべき相手を取捨選択し自らを磨き鍛錬していくことで、あらたな解決策への糸口が見出せます。そしてこの真理は過去の平戸市の歴史を見直しても歴代の藩主や為政者が求め続けてきた手法でもあり、決して真新しいことではありません。

今こそ私たちは「市民目線」を基本とし、それぞれの地域が自立心をもって持続可能なまちづくりを成し遂げるといふ総意を抱いていただけるよう、これに向かう自信とやる気をもって様々な課題解決に立ち向かわなければなりません。こうした課題に真摯に向き合い、粘り強く努力を重ねることで必ずや目的を完遂することができます。

さてここで改めて 11 月 18 日に任期満了で退職された杉澤伸慈前教育長への感謝の言葉を述べさせていただきます。先生には 4 年前にその時既に公的なお仕事に就かれていたにも拘わらず無理を押しして本市教育長にご就任いただきました。これまでの間、大きな懸案事項であった平戸市未来創造館の建設事業や長崎がんばらんば国体の開催、さらには県下初となる中学生英語スピーチ大会など学校教育は勿論のこと、社会教育全般における様々な取り組みにおいても、持ち前のエネルギッシュな教育理念と幅広い情報収集分析力を基に豊富なご経験と高いご見識をもって数々の成果をお遣しいただきました。ここに、職員の皆さんをはじめ教育関係の皆様とともに深く感謝の意を表する次第であります。

なお、後任の教育長として小川茂敏前市民福祉部長にご就任いただきましたが、今後とも本市教育界の発展のためにこれまでの豊かな行政経験を活かして新たに設置された総合教育会議の中でご尽力いただき、第二期平戸市教育基本計画や平戸市教育大綱など次のステージに向けてのご活躍をお願いいたします。

今月も慌しく過ごすうちに、まもなく年末を迎え寒さが一段と厳しくなりますが、くれぐれも健康管理に留意し、「火の用心」や「交通安全」なども含め、年末年始に向けて万全なコンディションで職務の遂行にあたられますよう職員皆様のご努力に期待します。

平成 27 年 12 月 1 日

平戸市長 黒 田 成 彦